



大阪医科大学病院
総合診療専門研修プログラム
家庭医療専門研修プログラム
2023

WORK LIFE BALANCE
ワークライフバランスを重視しキャリア形成をサポートします



皆さん、こんにちは！総合診療科長の鈴木です。



症例とともに若き研修医たちが病名をさぐるNHK総合テレビ「ドクターG」に出演。

また、全国の病院では、1つ1つの症例をじっくり深めていく、出張カンファレンス（症例検討会）が好評を博している。

「Dr. 鈴木の13カ条の原則で不明熱に絶対強くなる」（羊土社）を2015年4月に発行。



鈴木 富雄 (すずき とみお)

大阪医科大学 地域総合医療科学寄附講座 特任教授
大阪医科大学病院 総合診療科 科長

【略歴】

名古屋大学医学部卒業。

名古屋大学医学部附属病院総合診療科を経て、2014年9月より、大阪医科大学（現大阪医科大学）地域総合医療科学寄附講座特任教授、大阪医科大学附属病院（現大阪医科大学病院）総合診療科科長。

みなさんこんにちは。大阪医科大学病院総合診療科科長で本プログラム責任者の鈴木富雄です。

大阪医科大学は2021年4月に大阪薬科大学と統合して大阪医科大学となり、本プログラム名も「大阪医科大学附属病院総合診療専門研修プログラム」から「大阪医科大学病院 総合診療専門研修プログラム」に変わりました。

当プログラムでは現在、卒後3～6年目の専攻医8名、大学院生2名が在籍し、日夜診療、教育、研究に励んでいます。家庭医として開業を考えている者、病院総合医としての研鑽を積みたい者、卒前教育や卒後教育に関心の高い者、感染症診療分野で活躍したい者、彼らが希望する将来像は実に様々ですが、皆に共通しているのは、常にどんな時でも目の前の患者に対して真摯に対応できる「あなたの専門家」でありたいという強い思いです。彼らの学びに対する意識は貪欲であり、日々の診療を通じての成長は目覚ましいものがありますが、雰囲気は極めて和やかで、和気あいあいと毎日の研修に励んでいます。

皆さんも私たちと一緒に、自分自身の未来への輝かしいキャリアと日本における総合診療の新たな歴史を創っていきませんか？よろしければまずは是非一度、気軽に見学にお越しください。

教授室でたくさんのお菓子と素敵なお手紙をお待ちしております。



三澤 美和 (みさわ みわ)

大阪医科大学病院総合診療科の三澤です。滋賀県の長浜赤十字病院で初期研修医以来10年以上過ごしたあと、2016年4月当科に赴任しました。早いものでもう8年目に突入します。大学病院における総合診療科は実に多岐にわたる訴え、病態に向き合います。ICUで最重症の状態を管理することもあれば、一般病棟では感染症から不明熱まで多彩な臨床像に出会い、外来では心理社会背景が大きな影響を与える患者さんとの出会いが続きます。細分化された臓器別の診療では解決できないような健康問題に向き合い、患者さんや家族にとってどうすることができる本当に幸せなのか考えていく過程は総合診療医という専門性のやりがいを感じ、とても充実していると毎日感じています。

私が赴任した8年前のことを思えば、本プログラムには多くのレジデントが来てくれ、すでに数人は家庭医療専門医や総合診療専門医を取得しました。こうして地道に後進を育てていけることも楽しく感じます。在籍するレジデントたちは個性豊かで、カンファレンスでの白熱するディスカッションの一方で、いつも医局には笑いが絶えません。

私自身、二人の子供を育てながら仕事を続けさせてもらっており、医局に多くいるママさん医師もパパさん医師も奮闘しています。それぞれの働き方と一緒に考えていく場所でありたいと思っています。プライマリ・ケアはこれから日本の健康問題を支える大きな柱です。不安もあるかもしれません、臓器別ではなく患者さん全体を診たいと思う人、患者さんの家族や背景も大切にした診療を目指したい人、医局と一緒にわいわい勉強したい人・・・！敏腕秘書さんたちと医局の仲間が皆さんをお待ちしています。

大阪医科大学病院 総合診療科

島田 史生 (しまだ ふみお)

大阪医科大学 地域総合医療科学寄附講座 特任助教
大阪医科大学病院 総合診療科 医長

私は大学を卒業して市中の病院で研修を行い、その後総合診療医の道を歩むべく千葉大学医学部附属病院総合診療科にて診断推論を中心に研鑽を積み、2017年4月に本学へ赴任しました。ドクターGこと鈴木教授を筆頭に、熱意溢れる指導医の方々や個性豊かな当科レジデント達、さらに卓越したサポート力を発揮する秘書さん達と、日々の診療や当科をローテートされる研修医や学生さんへの教育、研究に従事しています。大学外での活動としては昨年までの4年間、高知県本山町への短期間出向を通じて当講座の主たる任務の一つである地域医療への貢献にも携わってきました。

当科で診療する患者さん達はbio-psycho-socialの各領域で複雑な問題を抱えた方が多く、まさに総合的な視点が必要な人たちばかりであり、そのような環境の中でレジデントの先生達と共に時に悩みや疑問にぶつかりながらも日々診療に当たっています。

私達の研修プログラムは診療所から地域の中核医療機関、更には大学病院という高次機能病院まで多様な医療現場で研修を送ることが可能であり、レジデント一人ひとりのニーズや状況にも応じて多様な研修環境・キャリアプランそして指導体制を提供しています。

また私達の診療科はwork-life balanceを大事にしており、その結果？（私も含めて）子育て中の先生もたくさん在籍して活躍しています。総合診療や家庭医療に興味のある先生方、ぜひ私達と一緒に学んで行きませんか？皆さんのお越しを心からお待ちしています！

大阪医科大学病院 総合診療科

橋本 忠幸 (はしもと ただゆき)

大阪医科大学 地域総合医療科学寄附講座 特任助教
大阪医科大学病院 総合診療科 医員

私は橋本忠幸と申します。2021年に12年ぶりに母校の大蔵医科大学に戻ってまいりました。今まで福岡の飯塚病院と和歌山の橋本市民病院で、病棟管理と医学教育を専門としてトレーニングを受け、今もその2つを中心に働いています。病院で働く総合診療医には、病棟の管理も重要なスキルとなります。大学病院ならではの診断が難しい症例の対応だけでなく、マルチモビリティー（多併存疾患）をいかに整理するか、なども日々学ぶことができます。

医学教育に関しては、主に若手指導医育成を中心に研究や育成プログラムの作成や実践などをしております。当科は若いスタッフや専攻医も多く在籍しています。新しい専攻医となる皆さんにも近しい指導医となってくれると思います。もちろん鈴木教授をはじめとしたベテラン指導医もいます。ベテランならではの深い指導を十分受けられます！

またアメリカの公衆衛生大学院の修士課程も卒業しているので、研究に興味がある人にもアドバイスはできると思います。医学教育研究もやっているので、医学教育を突き詰めたい方も、是非研究に興味のある方は一緒に研究もしましょう。

休日はキャンプやゴルフといった野外の趣味、そしてインドアでは動画編集なんかもやってます。そちらに興味のある方も是非一緒にやりましょう笑。



大阪医科大学病院 総合診療科
研修プログラム

3つの特徴

病歴と身体診察を基本とし、
患者の思いに応えられる
本物の総合診療能力を獲得

院内から全国に広がる
濃密なネットワークを駆使し、
多彩なキャリアパスを支援

プロフェッショナルとしての
生涯に渡る成長と学びの方略を確立

研修プログラムについて

病歴と身体診察を基本とし、患者の思いに応えられる本物の総合診療能力を獲得

- ・カンファレンスやレクチャーにて臨床推論の王道を研鑽
- ・ジェネラリストのロールモデルの診療科長による直接指導
- ・ベットサイド教育を通じて的確な診察手技をマスター
- ・丁寧なフィードバックにて学びを得る外来・病棟研修
- ・最後の砦の大学病院総合診療科医としての粘り強い診療姿勢



院内から全国に広がる濃密なネットワークを駆使し、多彩なキャリアパスを支援



- ・診療所から第一線病院までの指導体制の充実した協力施設群
- ・大阪医大での専門各科の柔軟で熱意溢れる全面的サポート体制
- ・小児から高齢者、救急から在宅・緩和ケアまでの幅広い研修機会
- ・卒前卒後の医学教育への参加機会や留学および教員への道もあり
- ・ワーク ライフ バランスを第一に女性のキャリアも最大支援

プロフェッショナルとしての生涯に渡る成長と学びの方略を確立

- ・定期的な振り返りにより到達地点を確認し次の目標を設定
- ・ストレスフルな問題に対するSEA (significant event analysis)
- ・ジレンマや悩みも気軽に相談できる指導医と医局の雰囲気
- ・成長の証のポートフォリオ記述に関する明快で詳細な指導
- ・生涯にわたり成長する省察的実践者としての個人をサポート



常に目の前の患者に真摯に対応し最善の選択ができる

あなたの専門家

になるために

研修プログラムの一例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1年目	必須内科 大阪医科大学病院 ●●内科			必須内科 大阪医科大学病院 ●●内科			必須内科 洛和会丸太町病院								
2年目	総合診療専門Ⅱ 大阪医科大学病院 総合診療科						必須救急科 大阪医科大学病院 救命救急センター			必須小児科 洛和会音羽病院					
3年目	総合診療専門Ⅰ 大阪医科大学病院 総合診療科						総合診療専門Ⅰ 本山町立国保嶺北中央病院								

総合診療Ⅰ

密接に関連した診療所もしくは小病院で
Commonな症例を豊富に経験

松本ほがらかクリニック、公立神崎総合病院、
本山町立国保嶺北中央病院、川村会くぼかわ病院、
米原市地域包括医療福祉センター、大井田病院

総合診療Ⅱ

研修の中心となる大学病院総合診療科で
ジェネラリストとしての根幹を確立

大阪医科大学病院総合診療科、市立奈良病院、
沖縄県立北部病院

必須内科

大学病院専門内科での充実した指導体制下で
豊富な症例を研鑽

大阪医科大学病院専門内科各科、天の川病院、
洛和会丸太町病院、公立神崎総合病院、
市立ひらかた病院、高槻赤十字病院、
川村会くぼかわ病院、金井病院、大井田病院

必須救急科

一次から三次まであらゆる症例に対応できる
救急診療能力を育成

大阪医科大学病院救命救急センター、
市立ひらかた病院、市立奈良病院、高槻赤十字病院

必須小児科

外来から入院症例まで多彩な症例を経験

大阪医科大学病院小児科、洛和会音羽病院、
市立ひらかた病院、市立奈良病院、
公立神崎総合病院、高槻赤十字病院、高槻病院

領域別研修

レジデントの希望に応じて柔軟な選択が可能

大阪医科大学病院専門各科、
しもむら内科クリニック、かとう内科並木通り診療所

研修場所に関わらず、3年間を通して定期的な振り返りセッションを継続
より良い学びの場を求めて、現在さらに研修協力施設を全国的に拡大中

Member's VOICE

大阪医科大学病院 総合診療科

臨床研修専任指導医 中垣 孝規

出身大学/大阪医科大学（現：大阪医科大学）

卒後11年目となりました。

現在はサブスペシャリティーの研修で大学附属病院リウマチ膠原病科で勉強させていただいている。それぞれの希望に沿った研修が可能なので、総合診療の知識をベースに興味のある領域にもかなり踏み込んだ研修ができるのが当科の魅力と思っています。

大阪医科大学 総合診療医学

地域総合医療科学寄附講座/総合診療科

大学院生/特別任命教員助教（准）住友 翔之

出身大学/大阪医科大学（現：大阪医科大学）

大学院4年生として研究、臨床に取り組んでいます。今年度は大学院論文の作成に注力するため、一定の時間を確保いただきました。

臨床面でも様々な疾患の経験し、診療を幅の広がりを感じています。

個人のニーズに沿った研修、研究が実現できると思います。ぜひお気軽に遊びに来て下さい。

大阪医科大学 総合診療医学

大学院生 關根 一臣

出身大学/大阪医科大学（現：大阪医科大学）

上級医の指導の賜物で専攻医終了と共に専門医を、翌2020年度には認定指導医を取得できるなど、とても恵まれています。大学院では、理想的な医学教育の在り方を模索する中で、医学生と患者さんとの関わりについての研究を練っています。毎月末にあるリサーチミーティングではZoomなども利用し密を避けつつ白熱した議論を交わすことができ、他の先生の考え方や研究などとてもいい刺激になります。是非、一度遊びに来てください！



大阪医科大学 総合診療医学

地域総合医療科学寄附講座/総合診療科

大学院生/特別任命教員助教（准）住友 翔之

出身大学/大阪医科大学（現：大阪医科大学）

大学院4年生として研究、臨床に取り組んでいます。今年度は大学院論文の作成に注力するため、一定の時間を確保いただきました。

臨床面でも様々な疾患の経験し、診療を幅の広がりを感じています。

個人のニーズに沿った研修、研究が実現できると思います。ぜひお気軽に遊びに来て下さい。



大阪医科大学 総合診療医学

大学院生 關根 一臣

出身大学/大阪医科大学（現：大阪医科大学）

上級医の指導の賜物で専攻医終了と共に専門医を、翌2020年度には認定指導医を取得できるなど、とても恵まれています。大学院では、理想的な医学教育の在り方を模索する中で、医学生と患者さんとの関わりについての研究を練っています。毎月末にあるリサーチミーティングではZoomなども利用し密を避けつつ白熱した議論を交わすことができ、他の先生の考え方や研究などとてもいい刺激になります。是非、一度遊びに来てください！



Member's VOICE



大阪医科大学病院 総合診療科

専攻医 重留 一貴

出身大学/大阪医科大学（現：大阪医科大学）

医師8年目の重留です。市中病院で研修後に入局しました。5年目までは1年半大学、1年半高知で地域研修していました。去年で小児科や救急研修も修了して、総合診療専門医試験も無事合格することができました！来年は家庭医の方の専門医試験を受験しようと思っています。医局の雰囲気もよく、教育的にも確実にステップアップできる環境だと思うので見学などいつでも来てください。



大阪医科大学病院 総合診療科

専攻医 川口 洋平

出身大学/福井大学

医師7年目川口です。

高知県での地域医療の経験を経て京都府の金井病院で在宅医療に従事し、2023年度より大阪医科大学に戻ってきました。このように大阪医科大学では、大学病院ならではの診断学から地域医療、訪問診療まで自身が希望するなら幅広い医療を学べます。まずは見学だけでもお越しいただき、医局の雰囲気だけでも感じていただければと思います。



大阪医科大学病院 総合診療科

専攻医 磯田 翔

出身大学/滋賀医科大学

2021年4月入局しました磯田翔です。

診断における思考過程に興味があり、思考過程の言語化と戦略化を通して、より多くの患者さんに貢献することを一つの目標として、日々修行しています。

世の中には専門科でも難しい不明〇〇(熱、腹痛、しびれなど)が溢れています。体系だった思考プロセスとそれに基づく情報収集と分析があるからこそ、そういうった不明〇〇に対応できると思います。診断が中々つかず病気が進行し、患者さんも自身も苦しいこともあります。でも諦めず真摯に向き合うことで、診断がつき治療に結びつき救われる命も多くありやりがいを感じます。また、診断や治療という医学的側面だけでなく患者さんの思いなどの心理的側面、ご家族や周囲の環境といった社会的側面にも焦点を当ててカンファレンスでディスカッションするところも一つの特徴だと思います。皆優しく懐が深く居心地が良い医局で診断学を学び、考える楽しさ・診断し治療に結びつける喜びと一緒に味わいませんか？

Member's VOICE



大阪医科大学病院 総合診療科

専攻医 水谷 肇 出身大学/大阪市立大学

入局してはや4年目の水谷です。高知研修、救急研修、小児科研修を終えて、今年1年間は大学で仕事をします。鈴木総診は、昨年から救急診療の体制が変わり症例数が激増したので、大学病院なのにcommonな疾患もたくさん診られるという稀有な環境に変化しています。忙しいですが他では得られない体験ができると思います。教育体制もますます充実で、僕自身も毎日のように学ばさせていただいています。

いっしょに回診して、診察して、カンファレンスして、共に成長できるといいですね。



高知県 町立国保嶺北中央病院にて研修中

専攻医 鄧 艷麗 出身大学/中国ハルビン医科大学

2020年4月に入局した鄧艷麗です。今は高知県の本山町立国保嶺北中央病院で勤務しています。高知県本山町は自然が豊かな観光地で、日本一番美しい村と言われています。地域の皆さん（病院のスタッフも患者様も）優しくて、暖かい方々です。患者さんの多くは超高齢者であり、超高齢者を診る経験を大事にしたいと思っています。小児から超高齢者まで幅広く診察できる総合診療医になるように頑張っています。ぜひ仲間になって、一緒にがんばりましょう！



高知県 医療法人川村会くぼかわ病院にて研修中

専攻医 金築 佑樹 出身大学/滋賀医科大学

2021年度に入局しました金築と申します。

初期研修は京都の病院で研修を行い、後期研修より当科でお世話になっています。研修当初は慣れないこともありましたが、周りの先生方に助けて頂きながら研修を過ごすことができました。大学での診療は基本的にはチームで行いますので、難しいプロブレムを抱えた患者さんでも相談しながら診療をすすめることができます。

病院自体も恵まれた環境にあり、通いやすい場所にありますのでぜひ気軽に見学に来てください。



大阪医科大学病院 総合診療科

専攻医 水野 律子 出身大学/大阪医科大学（現：大阪医科大学）

私は医学部卒業後、他の市中病院で2年間の初期研修を終え、母校である大阪医科大学総合診療科の専攻医として2023年度入局しました。私は一度別の学部を卒業し社会人として勤務していましたが、医学部を再受験し医師へ転職しました。私だけでなく、色々な背景をもつ個性豊かなメンバーが協力し合って診療にあたり、多様な観点で臨床上の問題に取り組んでいます。また、私は2人の子どもを持つ母でもあり、仕事と育児の両立に日々奮闘しています。まだまだ小さくて手がかかりますが、チーム体制が整っていることと、先生方の深いご理解のおかげで本当に充実したワークライフバランスを保つことができています。ぜひ一度見学に来ていただき、この熱心で楽しい雰囲気を肌で感じてもらいたいです。お待ちしております！

ある専攻医の一週間

月	火	水	木	金	土	日
7:00						
8:00	朝カンファレンス	抄読会/研修医勉強会	救急当直 引継ぎ			
9:00		朝カンファレンス				
10:00						
11:00	病棟診療 オンコール当番	外来診療				
12:00						
13:00						
14:00						
15:00	勉強会 準備	カンファレンス 科長回診	OFF		勉強会 準備 カンファレンス 科長回診	
16:00	入院カンファレンス		救急・外来カンファレンス	医局会 月1回 漢方勉強会	月1回 リサーチミーティング.	
17:00						
18:00						
19:00		救急当直				
20:00						
21:00						
22:00						

OFF
or
病棟オンコール



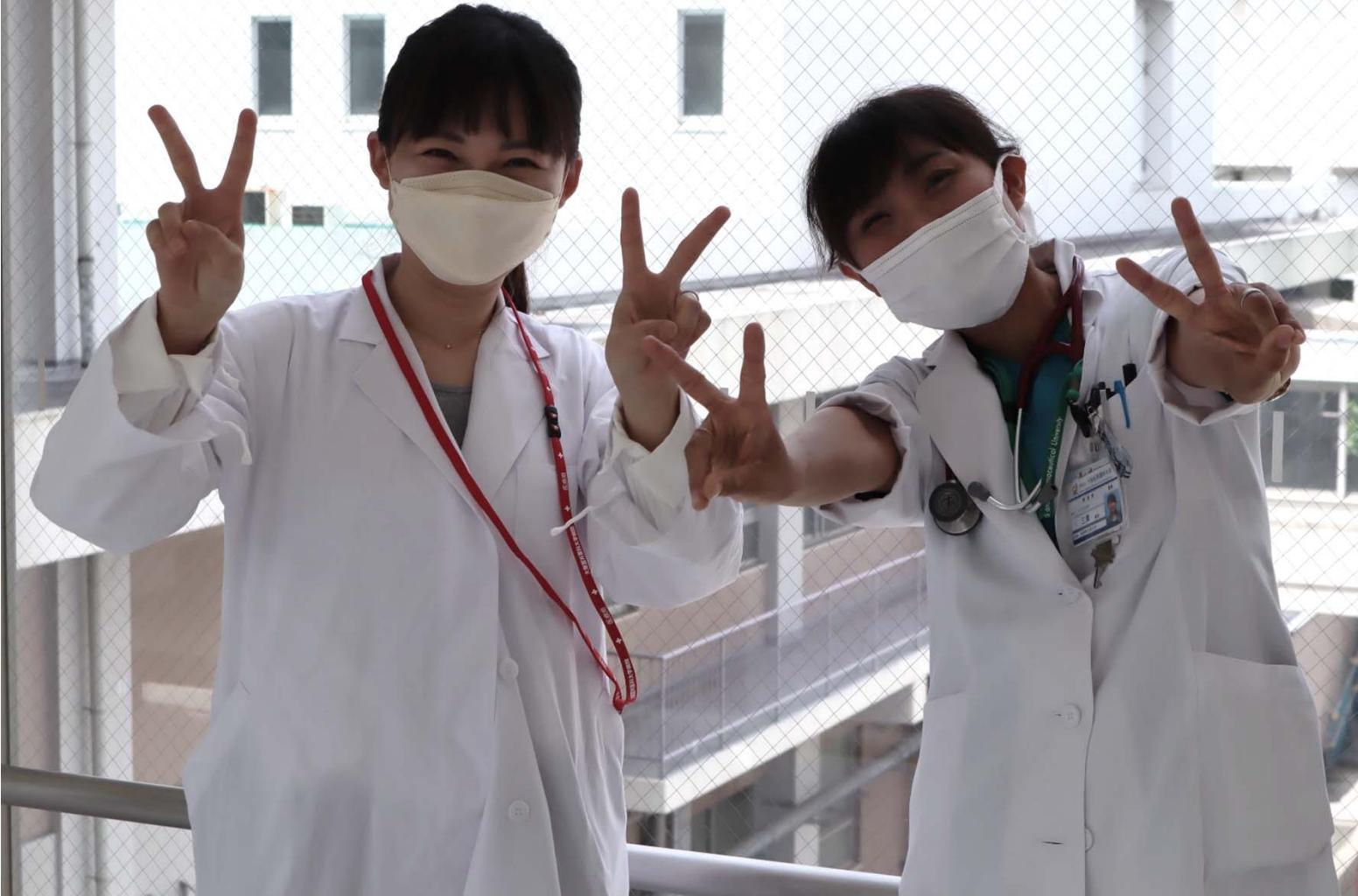
WORK LIFE BALANCE

ワークライフバランスを重視しキャリア形成をサポートします

カンファレンス・勉強会

専攻医と研修医のためのレクチャー	火（隔週） 8時～8時半	医師として必要な心構えと、総合診療に必要な知識を、コンパクトに凝縮した濃厚な時間です	
ベットサイドティーチング	火・金 15時半～17時	診療科長の鈴木が研修医や専攻医と共に、入院中の患者に対して一人一人時間をかけて回診します。ベットサイドティーチングの神髄がここにあります。	
入院カンファレンス	月 16時～17時	研修医や専攻医が受け持つの入院症例をプレゼンテーションした後、参加者全員でディスカッションをして議論を深めます。診断困難例や治療方針が立ちにくい症例を共有して方向付けをする重要なカンファレンスです。	
救急・外来カンファレンス	木 16時～17時	救急当直や外来での興味深い症例の共有や、治療方針の決定の相談など、何でも気軽に議論のできる場です。たくさんのクリニカルパールが示される大変有意義なカンファレンスです。	
抄読会	火（隔週） 8時～8時半	専攻医が持ち回りで、それぞれの興味に応じて、総合診療・家庭医療に関する英文論文を読み込み、簡単な資料を作成して皆で論文からの学びを共有します。	
レジデントディ	ある土 午前 (月に2回)	専攻医が持ち回りで、専門医取得に必要な書式でポートフォリオを作成し、指導医の下で文献などを調べ、理論的背景を深めながら、皆で学びの振り返りを行っています。この時間は、キャリアを確実に積み上げていく上で欠かすことのできない「メタ認知」を行う絶好の機会となっています。	
漢方レクチャー	木 (月に一度)	日本プライマリ・ケア学会指導医で日本東洋医学会漢方専門医である漢方の達人、下村先生による非常にわかりやすい漢方レクチャー。証を見極め適切な手を打つ。必見の講義です。	

大阪医科大学病院 総合診療科



まずはお気軽に
お問い合わせください。

レジデント募集要項

応募資格	1.医師免許を有している者 2.2024年4月までに臨床研修を修了している者、または修了見込みの者 3.臨床研修修了後6年を経過していない者
研修開始日	2024年 4月 1日 但し、応募者の都合により研修開始日の変更は可能
試験日	第1回目 未定 第2回目 未定※ 第3回目 未定※ (※第2回・第3回は募集定員に空きがある場合のみ実施)
選考方法	面接試験
出願期間	第1回目 未定 第2回目 未定※ 第3回目 未定※ (※第2回・第3回は募集定員に空きがある場合のみ実施)
問い合わせ先	大阪医科大学病院 総合診療科 gmd@ompu.ac.jp

※総合診療専門医研修を行うためには、上記の申込と共に日本専門医機構が定める専攻医登録システムへの登録が必要です。詳細は、日本専門医機構のホームページをご覧ください。